

記憶に残る農業体験を ファームステイ 受け入れ手募集



都会の子どもたちに
農業の素晴らしさを伝えてみませんか？

皆さん、札幌や関西圏の修学旅行生の農業体験を受け入れている「しんとつかわで心呼吸。推進協議会」（白石昇会長、会員29人）の活動はご存じでしょうか。

平成17年に設立したこの協議会は、新十津川の豊かな自然とそれに根差した農業を通して、都市と農村の交流を図り、新十津川をもっと元気にしようと活動しているグループです。

平成22年度に受け入れた学校は28校で生徒数は1064人となっています。



本町の農家での農業体験受け入れは、平成7年に中空知広域市町村圏組合が窓口となつて、東京の芝高校を受け入れたのが最初です。その後、毎年1校のペースで受け入れていきましたが、平成15年に空知管内の農業体験受入組織「そらちDEいくね」が設立されたのを契機に、町内での農業体験受け入れが一挙に本格化しました。そして、平成22年度、初めて1000人の大台に乗りました。

農業体験者数の変化

平成17年度	4校	180人
平成18年度	14校	446人
平成19年度	18校	521人
平成20年度	19校	584人
平成21年度	27校	803人

子どもたちの反応は

昨年6月に1泊2日で来町した、兵庫県立姫路南高校の農業体験後のアンケート調査結果（他のまちで受け入れた生徒を含む）をご覧ください。

① 農家さんの印象は？

- 1位 優しそう……………64%
 - 2位 怖そう……………14%
- 怖そうが2位に入っているのは、初対面で不安があるからでしょうか。他には、面白そう、男前などの意見がありました。

② 食事は？

- 1位 とてもおいしい…72%
 - 2位 おいしい……………25%
- 農家さんの手料理+新鮮な空気が、おいしさの理由かもしれません。

③ 特においしかったものは？

- 1位 ジンギスカン……………64%
 - 2位 おにぎり・ご飯…14%
- 北海道といえばジンギスカンが定番。7割の受け入れ農家で出しています。おにぎり・ご飯が2位に入っているのも道産米の実力でしょう。

④ 体験の満足度は？

- 1位 とても満足……………69%

- 2位 満足……………22%
- ほとんどの生徒が満足しているようです。

⑤ 1泊2日の滞在期間（午後3時に到着し、翌日の午前11時に役場前から出発）は？

- 1位 短い……………40%
 - 2位 とても短い……………19%
- このスケジュールだと、実際の農業体験時間は夕方の2〜3時間なので、物足りないということでしょう。

⑥ 修学旅行でよかったのは？

- 1位 ラフティング……………36%
 - 2位 農業体験……………35%
- 堂々、農業体験が2位になっています。



⑦ 農業体験で感じたこと

○良い人だったので、ずっとお世話になりました。また絶対戻ろうと思う。
○自分が買って食べている食材が、農家の人たちが丹念に育ててくれているのだと感じ、これからは残さないようにしようと思った。
○新しい家族ができたみたいで楽しかった。緊張していた自分たちを温かく迎えてくれてとてもうれ

農家の皆さん、 あなたも子どもたちを受け入れてみませんか？

「しんとつかわで心呼吸。推進協議会」では、都会の子どもたちに、新十津川の自然や農業の素晴らしさを伝えてくれる仲間を募っています。

農業体験は、半日、1日、1泊2日と3種類あります。まずは半日、1日体験の受け入れにトライしてはいかがでしょう。もちろん、体験料や食事代は支給します。受け入れは、男女別4人1組が基本となりますが、中には男女混合の場合もあります。

受け入れ時期は、5月から6月と9月から10月の期間に集中します。

興味のある方は、事務局にお問い合わせください。

しかった。
○自分たちが手伝った作業は、野菜を作る過程のほんの一部だが、自分が携わった野菜がどこかで食べられると思うと、不思議な気持ちになった。

農業体験が、子どもたちの記憶に深く刻まれていると感じられます。



問合せ
産業振興課商工観光グループ
☎ 76・2134